

上田 肇 さん
厚生労働大臣表彰
を受賞

町立茶内歯科診療所の上田肇歯科医師が、昭和四十三年から四十年間の長きに渡る歯科医療への貢献が認められ、高知県で行われた第三十回全国歯科保健大会の席上で厚生労働大臣表彰を受賞されました。

上田歯科医師は、厚岸町で歯科医師をされていた父親のもとで勤務されておりましたが、茶内地区の住民の強い要望により、昭和四十三年から浜中町への出張診療を始める様になりました。その後住民の歯科診療の確保に貢献されてこられました。

また、平成十四年からは、幼児や学童の健診も快く引き受けられ、母子歯科保健事業へも多大な協力いただいております。

十二月十五日、町長室を訪れ、「町の協力も有り、四十年間、浜中町という人情溢れる町で仕事ができてそれが認められ、最高の賞をいただいた。」とよるこびを語っておられました。



波岡 玄智 さん
北海道社会貢献賞(自治功勞)
を受賞

浜中町議会の波岡玄智議長は、平成三年から十八年間の長きに渡り、町議会議員として地方自治の育成発展に貢献されてまいりました。

この間、議会運営委員長、広報調査特別委員長として議会の運営と広報活動に積極的に取り組まれたほか、平成十五年より副議長、平成十九年には議長に就任され、町政の推進役として、議会の円滑な運営を図り、町の振興発展に尽力されております。

この度、これら功績が認められ、札幌市内のホテルで伝達式が有り、高橋はるみ知事より表彰状と記念品が贈られました。

十二月十六日、町長室を訪れた波岡議長は、「この度の受賞は、自分一人の功績だけではなく、浜中町議会議員のみなさんの協力があってこそです。」と受賞に際してのよるこびを語っておられました。



首都圏ふるさとほまなか会が開かれました!



十一月二十一日、東京のアルカディア市ヶ谷で首都圏ふるさとほまなか会が開催されました。本会は、今年で五回目の開催となり、総会に引き続き交流会が行われ、浜中町からは長谷川町長や波岡町議会議長、栗本商工会長ほか十七名の参加があり、総勢六十一名が思い出話や浜中の話題で交流を深めました。

地域へ貢献! 姉別小学校にもち米が贈られました



十二月十二日、標津町の株式会社上田組(代表取締役上田光夫氏)より、姉別小学校PTAへもち米、小豆、あんこが寄付されました。同社からは昨年の杵や臼に続いての寄付となります。町内では、これまで六年間に渡って国営かんがい排水事業工事などをしてきましたが、地域の皆さんへ、日頃のお世話になったお礼として贈られたものです。寄付にあたっての贈呈式の後、学校を訪れた工事部の高橋勝弘係長と鈴木淳係長をはじめ、地域の子ども達や老人クラブの皆さんと一緒に餅つきを楽しみました。

厚陽開拓50周年記念を祝う

↓厚陽地区会館前に設置された記念碑。石碑には「牛道」と刻まれています。



↑開拓功労者の方に地域の子ども達から花束を贈呈しました。

町内最後の開拓地となった厚陽地区が、入植から五十周年を迎え、十一月二十八日、記念式典と祝賀会が開催され、厚陽地区十四戸全てが出席されました。式典では、開拓功労者として十三名の方に記念品や花束が贈られ、功労者から代表として謝辞に立った岩城倫正さんの開拓当初の苦労話や思い出話に会場の皆さんは聞き入っていました。また、出席された方には地域の皆さんが参加して作られた記念誌が配られました。記念誌も式典の時に感じた、厚陽地区のまとまりの強さと活気が伝わる内容になっております。

浜中一押しグルメ開発研究会設立



十二月十三日、浜中町観光協会では、浜中でしか味わえない一押し料理がないとの多くの観光客の要望に応えるため、町商工会、浜中漁協、散布漁協と協力し、一押しグルメ開発研究会を設立しました。設立会議の後、町商工会、浜中漁協の女性部など約三十名が参加し、講演会と創作料理講習会が開催されました。講師には石川県より、海外で料理を学んだ家庭料理人の橋本登志子さんを迎え、昆布・ホッキ・タコ・ウニなどの浜中で獲れる食材で八品にも及ぶ創作料理が披露されました。今後はこの八品の料理も参考として、研究会によるグルメの開発が進められます。

地場産品を おいしく食べよう講座



十一月二十日、老人福祉センターにおいて、「町の匠たくみに聞く地場産品をおいしく食べよう講座」が開催され、講師に湯沸の伊藤キヌ子さんを迎え、『鮭の飯ずし』の作り方を十七名の参加者が学びました。魚の塩抜き作業から本漬けと呼ばれる樽に詰め込む作業まで、本来であれば三日間はかかる作業を分かりやすく丁寧に教えてくれました。また、飯ずしの多くのバリエーションの説明も有り、参加された皆さんは多くのレシピを学んでいました。

琵琶瀬小学校児童 人権教室で学ぶ



十一月二十五日、琵琶瀬小学校において、全校児童を対象とした人権教室が開催されました。人権教室は町内で年に四・五回開催されており、今回は、指導者として子どもの専門副委員長である館岡穰さんを招いての開催となりました。「思いやりの心」の大切さをテーマとした館岡さんのお話には、児童たちはすっかり心を打ち解け、にぎやかに楽しい授業となりました。児童の皆さんには、「この授業で学び感じた「思いやりの心」を忘れずに、成長していただきたい」と思います。授業の最後には、人権擁護のマスコットである「人権あゆみちゃん」と記念撮影もしました。